

令和5年度 益子町立七井小学校学校評価書

1 教育目標と目指す児童像

【学校教育目標】	【目指す児童像】	【校心】
○学ぶ	◇自ら学ぶ子	□なかよしの心
○鍛える	◇たくましい子	□なしとげる心
○思いやる	◇思いやりのある子	□いたわりの心

2 学校経営の基本方針

- (1) 学習指導要領の趣旨や内容等を十分に踏まえ、児童の発達の段階を考慮しながら知・徳・体をバランスよく育むための教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 学校教育活動全体を通じ、心身ともに健康で安全な生活態度の育成に努める。
- (3) 家庭及び地域等との連携の下、信頼される学校づくりに努める。
- (4) 教職員一人一人が自分の職務に誇りと自信をもち、個々の強み（学校組織）を生かした熱意あふれる教育の展開に努める。
- (5) 健康管理や勤務時間を意識した「働き方改革」の推進に努める。

3 本年度の努力点と具体策

- (1) **「生きて働く確かな学力」を育むための学習指導の充実**
ア授業の充実（めあてと振り返りの工夫、タブレットを含むICT機器の効果的な活用、TTによる効果的指導等）
イ自ら学ぶ学習習慣の確立（効果的な家庭学習、保護者への啓発等）
ウ個別指導・支援の充実（スマイル教室、TTによる効果的な指導等）
エ漢字力、計算力向上のための指導の工夫・改善（ミニテストの実施等）
オ外国語及び外国語活動の充実（専科教員の活用と連携）
- (2) **「たくましく生きる気力と体力」を育むための健康・安全教育の充実**
ア教科体育、体力向上の指導の充実（新体力テスト結果の活用、補強運動の工夫、集会・外遊び・共遊の推進等）
イ給食指導の充実（完食の推奨、マナー・栄養指導、衛生・安全管理の徹底）
ウ生活・交通・災害安全等の指導の充実（各種避難訓練、各種感染症等対策、危機管理マニュアルの活用）
エ教育相談の充実（定期教育相談期間の設定、スクールカウンセラーの活用等）
オ生活リズム確立のための指導の工夫・改善（セーブメディアデーの活用と家庭への啓発等）
- (3) **「優しさと思いやり」を育むための心の教育の充実**
ア校心「なないの心」の意識化と日常的な実践（帰りの会や昼の放送での発表等）
イ読書活動の推進（読書タイムの活用、家読の推奨）
ウ響き合うあいさつ、温かい言葉遣いの実践（あいさつチャンピオン表彰等）
エ芸術鑑賞、交流学习、宿泊学習等の豊かな体験活動の充実
オやまぶき班活動の工夫・改善（共働・共遊・共感の場の設定と実践）
カ「特別の教科 道徳」の充実（授業公開、ゲストティーチャーの活用等）
キ感謝の心を込めた清掃への取組（目的意識をもった作業）
- (4) **地域に信頼される学校づくりの推進**
ア迅速な情報の発信（学校・学年・保健だより、ホームページ等）
イ地域の教育力の活用（「なないっ子ネット」の推進、ボランティアコーディネーターとの連携等）
ウ教育活動への保護者等の参加・協力（引率ボランティア等）
エ学校評価を生かした学校経営（自己評価、保護者・児童アンケート、学校関係者、評価結果を踏まえたPDCAの実践）
- (5) **教職員個々のよさの発揮と参画意識の高揚**
ア教師力の向上を目指す研修の充実（現職教育、研修会の主体的参加と内容等の共有）
イ教職員評価制度の充実（各種面談の確実な実施と目標設定・評価の工夫）
ウ居がいのある職場環境づくり（風通しのよい雰囲気醸成、働き方改革の推進）

4 評価表

評価・・・ A…よい

C…どちらかと言えば課題あり

B…どちらかと言えばよい

D…課題あり

評価値の設定

○個人の評価点

○全体の評価点(平均点)

A…4点

B…3点

C…2点

D…1点

A…4～3.5点

B…3.5未満～2.5点

C…2.5未満～1.5点

D…1.5未満～1点

項目	評価項目	主な具体的取組	自己評価(教職員評価)
教育課程	○学校は明るい雰囲気、児童は生き生きと生活している。	①日課の工夫を図り、児童が落ち着いて学習に取り組むとともに、休み時間に元気に外で遊べるようにする。 ②行事を通して児童が成長できるよう、行事を励みに生き生きと生活できるようにする。	【評価】 A 16人 B 4人 C 0人 D 0人 A 平均 3.8点 <hr/> 【達成状況】 ・朝の読書が定着し、落ち着いて一日のスタートをきることができた。後期は、前期の反省をもとに、学級の実態に応じて週2回は補充的な学習を行うことにした。年間を通して日課が大きく変わることがなく、児童にとっても職員にとってもよかったと思う。 ・コロナ5類以降は、感染症対策を念頭に置きつつも、コロナ以前に近いような状況で行事を実施し、宿泊学習も完全実施となった。運動会ではようやく家族が観覧できるまでになった。児童が行事を通して学ぶものは大きく、成長した児童の姿を見ることができた。 ・音楽鑑賞会、トップアスリートによる講演および交流等、全児童が一堂に会しての集会活動を実施することができた。時と場合に応じてICT機器を活用し、リモートで実施することもできた。 【次年度の方針】 ・児童と向き合う時間を大切にし、児童にとって居がいのある学校となるよう、行事を柱に諸活動を積極的に行っていく。
	【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	【児童アンケート】 「学校に来るのが楽しいですか。」 A… 78.3% B… 15.4% C… 4.0% D… 2.2%	
	学校関係者評価(学校評議員用)		
【評価】 A A 4人 B 1人 C 0人 D 0人 平均 3.8点			
・児童は、どの学年も授業に落ち着いて取り組んでいます。 ・コロナ以降、児童がとても落ち着いていると思います。			
学校運営	○学校・家庭・地域が一体となった取組を推進している。	①学校支援ボランティアや地域の人材を有効に活用する。 ②学校・家庭・地域が協力し合って安全対策を推進する。	【評価】 A 12人 B 9人 C 0人 D 0人 A 平均 3.5点 <hr/> 【達成状況】 ・計画した校外学習は、すべて実施することができた。学校支援ボランティアの協力を得ながらの学習はコロナ禍よりは幅が広がった。飼育ボランティアの方々は、年間を通して活動に携わってくださった。読み聞かせボランティア、図書ボランティアにも入っていただいた。 ・交通指導員の皆様、スクールガードの皆様など地域の協力を得ながら、保護者と共に児童の安全対策を継続して講じることができた。 【次年度の方針】 ・今後も地域の協力を得て、感染症対策を頭に入れながら、地域人材の活用を推進していく。
	【評価指標】 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	【保護者アンケート】 「学校は、子供たちの安全対策(交通事故防止、防犯、情報セキュリティ、環境整備等)に熱心に取り組んでいる。」 A… 31.2% B… 59.0% C… 9.8% D… 0.0%	

学校関係者評価（学校評議員用）

【評 価】 A A 4人 B 1人 C 0人 D 0人 平均3.8点

- ・様々なボランティアの皆様のご理解ご協力がありがたく、七井小学校はすばらしいといつも思っております。
- ・保護者アンケートの平均点からすると、取組内容の検討または取組状況の伝え方の工夫をされてはいかがでしょうか。

○学校の公開や情報の積極的な発信・提供に努めている。

【評価指標】
⇒保護者の肯定的回答
80%以上

- ①学校を公開し、家庭との連携を一層深める。
- ① GoogleClassroom、ホームページや各種たよりなどを通して、情報を的確に発信する。

【保護者アンケート】
「学校は、子供たちの様子を伝えている。」
A… 42.8% B… 46.2%
C… 10.4% D… 0.6%

【評 価】 A 16人 B 4人 C 0人 D 0人
A 平均3.8点

【達成状況】

- ・ホームページ、GoogleClassroom、各種たより等を利用して、学校からの情報発信に努めた。ホームページは毎日更新し、校内のみならず地域への発信を意識した。GoogleClassroomには、こまめに写真等を掲載し、家庭との連携を深められるよう心掛けた。

【次年度の方針】

- ・引き続きホームページや GoogleClassroom にて情報発信していく。

学校関係者評価（学校評議員用）

【評 価】 A A 5人 B 0人 C 0人 D 0人 平均4点

- ・学校からの情報発信、読みやすく楽しく拝見しています。
- ・各種たよりをもとに、多くの家庭で親子の話題になればより効果が上がるように思います。

○信頼される学校づくりを目指して積極的に教育活動の改善に努めている。

【評価指標】
⇒保護者の肯定的回答
90%以上

- ①学校評価を適切に実施するとともに、学校評価の結果を教育活動の改善に生かしていく。
- ②保護者や地域から信頼される学校づくりを推進する。
- ③教師力向上を目指す校内研修等の充実を図る。
- ④組織としての教育機能の強化を図る。
- ⑤教職員の持ち味の発揮と意欲的な職場環境づくりの推進を図る。

【保護者アンケート】
「学校は、生活・学習指導を熱心に行っている。」
A… 44.5% B… 49.7%
C… 5.8% D… 0.0%

【評 価】 A 14人 B 8人 C 0人 D 0人
A 平均3.6点

【達成状況】

- ・学校評価の結果を踏まえ、問題意識をもって事にあたった。
- ・児童および保護者アンケートから見えてきた課題は、個別に対応したり、改善策を検討したりした。

【次年度の方針】

- ・学校評価や児童および保護者アンケートの結果ですぐに改善できるものは年度内に実施し、改善点は、次年度の組織や努力点・具体策の中に反映できるよう努める。

学校関係者評価（学校評議員用）

【評 価】 A A 5人 B 0人 C 0人 D 0人 平均 4 点

・先生方の熱心なご指導と真心こもったご教示に深く感謝しております。

児童 の 状 況	(生活) ○明るくあ いさつし、 居がいのあ る学校生活 を送ってい る。 【評価指標】 ⇒児童の 肯定的回答 90%以上 ⇒児童の 肯定的回答 90%以上	①人権教育を考慮し、「明 るいあいさつ」、「温かい 言葉遣い」、「さん」で呼 ぶ環境づくりの徹底を図 る。 ②各月ごとの心の健康チェ ックや、学期ごとの教育 相談週間を実施するとと もに、スクールカウンセ ラーの積極的な活用を図 る。 【児童アンケート】 ア「自分から進んであいさ つをしていますか。」 A… 63.6% B… 30.5% C… 4.8% D… 1.1% イ「友達やまわりの人に やさしくしていま すか。」 A… 75.7% B… 21.7% C… 2.2% D… 0.4%	【評 価】 A 13人 B 5人 C 0人 D 0人 平均 3.6点 ----- 【達成状況】 ・あいさつは喫緊の課題であり、教職員が率先してあいさつを したり、全教育活動において、あいさつの大切さについて指 導したり、意識啓発に努めたが、なかなか思ったような成果 を上げることができなかった。 ・学級活動を通して、帰属意識や規範意識を高める学級づくり を心掛けた。 ・毎月の心の健康チェックアンケートを行うことで、問題の早 期発見につながった。教育相談は実施期間以外にもピンポ イントで行うことができた。スクールカウンセラーの指導をも とに配慮を要する児童の支援にあたることができた。スク ールソーシャルワーカーを効果的に活用した。スクールソ シアルワーカーの存在は大きい。 【次年度の方針】 ・気持ちのよいあいさつが交わされる学校を目指し、今後も学 校全体で指導していく。 ・アンケートや教育相談の実施方法について再検討するととも に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの 効果的な活用を引き続き行っていく。
-------------------	---	---	--

学校関係者評価（学校評議員用）

【評 価】 A A 5人 B 0人 C 0人 D 0人 平均 4 点

・下校時は、特に元気なあいさつをしてくれています。
・あいさつはいつも元気ではっきり声を出して返してくれて、気持ちが良いです。

○規則正しい生活をし 毎朝朝食を 食べている。	①十分な睡眠を確保し、規 則正しく生活しているか の生活チェックを行う。 また、個別の指導を行う。 ②朝ご飯を食べ、元気に家 を出ているか等、生活チ ェックを行うとともに、 個別の指導を行う。	【評 価】 A 9人 B 8人 C 0人 D 0人 平均 3.5点 ----- 【達成状況】 ・各種おたよりによる保護者への啓発や生活チェックを行うこ とは、家庭への意識付けに効果的であった。 ・生活チェックや個別の指導を行うことにより、児童の生活の 実態を把握することができた。 ・学期始めの「養護教諭の話」は、児童の保健に対する意識向 上につながった。
-------------------------------	---	---

<p>【評価指標】 ⇒保護者の肯定的回答 90 %以上</p>	<p>【保護者アンケート】 「家庭では、基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓、時間を守る)や衛生習慣(手洗い、歯みがき)などを徹底している。」 A… 33.5 % B… 60.7 % C… 5.8 % D… 0.0 %</p>	<p>【次年度の方針】 ・個人懇談や保護者会等、折に触れて、規則正しい生活習慣の確立の重要性を話題にし、各家庭の協力が得られるよう保護者に働きかける。</p>
---	---	---

学校関係者評価（学校評議員用）

【評 価】 A A 5人 B 0人 C 0人 D 0人 平均4点

- ・学校では規則正しい生活をしていても、家では甘えが出てしまうので、保護者アンケートのようになるのは理解できます。
- ・生活が乱れず、規則正しい生活習慣が身に付くよう、ご家庭にも働きかけ願います。

<p>○運動や外遊びを進んで行い体力が向上している。</p> <p>【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 90 %以上</p>	<p>①体育の授業展開を工夫するとともに、実施する領域をしっかり吟味し、運動の楽しさに気付き理解させ、その動きが身に付くよう努める。 ②外遊びや共遊ができる時間を確保する。</p> <p>【児童アンケート】 「休み時間は外で元気に遊んでいますか。」 A… 82.7 % B… 14.7 % C… 1.8 % D… 0.7 %</p>	<p>【評 価】 A 9人 B 6人 C 0人 D 0人 B 平均 3.3点</p> <p>【達成状況】 ・持久走大会やなわとび検定等、体育的行事に向けて、児童の意欲を高める工夫がなされた。 ・業間および昼休みには、外遊びの時間を十分確保することができた。自然に異学年が交じって遊ぶなど、好ましい傾向と言える。また、児童と共に遊ぶ教職員の姿も数多く見られた。</p> <p>【次年度の方針】 ・運動量を確保した体育の授業について考えていく。</p>
---	--	--

学校関係者評価（学校評議員用）

【評 価】 A A 5人 B 0人 C 0人 D 0人 平均4点

- ・体力向上の工夫が見られ、異学年児童や先生方とのふれあいが心温まります。
- ・スクールバス利用の影響もあり、体力づくりは家庭・地域を巻き込んで今後の課題です。

<p>○教職員は、協力し合っ て熱心に教育に当たっている。</p>	<p>①「分かる・できる・楽しい授業」づくりに努める。（「めあて」の提示・「ふりかえり」等の実践） ②指導方法や指導体制を工夫・改善する。 ③学校課題である Chrome book の効果的な活用についての研修を行い、授業力の向上に努める。</p>	<p>【評 価】 A 7人 B 13人 C 0人 D 0人 B 平均 3.3点</p> <p>【達成状況】 ・学習指導主任および学力向上推進リーダーを中心として、全職員が授業改善に取り組んだ。今年度も学力向上コーディネーターの指導を受けることにより（3年目）、授業力向上への意識が高まった。 ・「めあて」、「ふりかえり」の実践が定着し、TTの効果的な活用方法について工夫や改善が見られた。 ・Chromebook の効果的な活用に向けて、教材研究がなされた。研究授業の前にはブレ授業を行う等前向きな姿が見られた。 ・授業の中で児童全員が発表する場面を意図的に設定してきたが、十分とは言えない。</p>
---------------------------------------	--	--

【評価指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒児童の肯定的回答 70%以上	【児童アンケート】 「授業の内容はよくわかりますか。」 A… 66.9% B… 28.3% C… 2.2% D… 2.6% 【児童アンケート】 「自分の考えをしっかりと発表できますか。」 A… 44.9% B… 30.1% C… 18.0% D… 7.0%	【次年度の方針】 ・ Chromebook を授業のどの場面で活用していくのか、さらに研鑽を積んでいく。 ・ 各種研修等を通して、また、相互授業参観等によって、教師のさらなる指導力向上を図っていく。児童が、自分の考えをしっかりと発表できるような授業を仕組んでいく。
---	---	---

学校関係者評価（学校評議員用）

【評 価】 A A 5人 B 0人 C 0人 D 0人 平均4点

・ 1つ目の児童アンケートの平均点は高く、先生方が分かる授業に積極的に取り組んで来られたからだと思います。

○家庭学習の習慣が身に付いてきている。 【評価指標】 ⇒保護者の肯定的回答 50%以上	①発達の段階に応じて、家庭学習の仕方を指導する ②自ら学ぶ学習習慣を身に付けるための、学校と家庭との学習サイクルの定着を図る。 【保護者アンケート】 「お子様は、進んで読書や家庭学習をしている。」 A… 18.5% B… 41.0% C… 37.0% D… 3.5%	【評 価】 A 8人 B 11人 C 0人 D 0人 B 平均 3.4点 ----- 【達成状況】 ・ 「家庭学習の記録」を継続するとともに、「家庭学習の手びき」にて自主学習の内容を示し、児童が自主的に学習できる環境を整えた。 ・ 自主学習が定着してきた児童がいる一方で、なかなか習慣化しない児童もいた。 ・ 家庭学習の実施方法等について、学校から家庭への働きかけをしたが十分でなかった。 【次年度の方針】 ・ 家庭学習のさらなる定着を図るために、発達の段階に応じた家庭学習法の研修の充実、実施を図り、家庭との情報共有を密にしていく。AIドリルを上手に活用していく。 ・ 今後も家庭への啓発と協力依頼を継続する。家庭学習の内容や方法についての取組は個人差があるので、個に応じた丁寧な支援をしていく。
---	---	--

学校関係者評価（学校評議員用）

【評 価】 B A 1人 B 4人 C 0人 D 0人 平均3.2点

・ 児童に応じて、それぞれが何のために学習するのか目標をもたせ、時折再確認させながら、学習の習慣化を図ったらどうでしょうか。

○読書の楽しさを知り、継続的に読書をしている。

①読書記録を工夫することや読み聞かせにより、読書習慣の形成や読書意欲の向上を図る。

②「家読の日」を設定することにより、家庭での読書が習慣化するように働きかける。

③「学校司書」による効果的な児童への支援を考へ、図書室の有効活用を図る。

【評価指標】

⇒児童の肯定的回答 80%以上

【児童アンケート】

「読書は好きですか。」

A… 63.6% B… 21.3%
C… 9.6% D… 5.5%

【評価】 A 7人 B 11人 C 3人 D 0人
B 平均 3.1点

【達成状況】

- ・朝の読書タイムの設定により、だれもが毎日決まった時間に読書する習慣が身に付いた。
- ・「本の貯金箱」や「家読カード」を利用することで、読書への意識が高まる一助となった。
- ・月1回の「家読の日」は習慣化するまでには至っていない。
- ・「とっくん号」からの貸し出しにより、より多くの本に触れることができた（特に低学年）。
- ・電子化に伴い、貸し出しがスムーズになった。
- ・読み聞かせボランティアに入らせていただくことができた。
- ・図書委員や職員による読み聞かせを行った。

【次年度の方針】

- ・学校司書の効果的な活用方法を検討し、実践していく。
- ・引き続き、読み聞かせボランティアへ要請し、読み聞かせの回数を増やしていく。図書委員会や職員による読み聞かせも推進していく。

学校関係者評価（学校評議員用）

【評価】 B A 1人 B 4人 C 0人 D 0人 平均 3.2点

- ・今後とも、豊かな読書週間が身に付くよう、ご指導ご配慮お願いいたします。

その他

- ・「全体としての感想」

先生方の教育に対する内容面の取組など、とても明るく誠実に子供たちと向き合っている雰囲気学校全体として感じられます。ありがとうございます。

ただ、校舎の老朽化や男女それぞれに青・赤のジャージを使用している点、コロナ禍を経て、改めて内容だけでなく、子供を取り巻く環境を整備してほしいと思いました。